



2016  
秋号  
No. 77

発行 徳島市かちどき橋1丁目41番地 TEL 088-622-8158 FAX 088-626-5411  
URL : <http://www.toku-forest.com/> E-mail : [info@toku-forest.com](mailto:info@toku-forest.com)



「緑の雇用」集合研修



Contents

第65回通常総会開催	2~3
第94回協同組合デー記念講演会	4
平成28年度森林組合役職員（コンプライアンス）研修会	5
2day 林業体験ツアー in とくしま	6
「みどりの110番」実績報告書	7

## 第65回通常総会開催



杉本会長あいさつ

平成28年5月27日、徳島市「徳島グランヴィリオホテル」において、徳島県森林組合連合会第65回通常総会を開催いたしました。

冒頭、杉本会長は、我が国の経済問題に触れ、「脱デフレ」への金融政策、TPP対策の財政出動、さらには原油安と言った国際情勢により景気回復に多少勢いが見られ始めたものの、人件費や原料高など企業のコスト負担が上昇しているほか、熊本地震などでは自動車部品や電気機械などの生産関連や観光関連も影響し、国内景気は再び悪化に転じており、今後の景気は回復に向けた好材料が乏しいなか、足踏み状態で推移するとの見解を示されました。

一方、林業・木材産業界においては、住宅着工戸数が、消費増税後の落ち込みから回復傾向にあるものの、合板等製品需要が低迷し、丸太価格が下落するなど引き続き厳しい状況が続いているなか、四国管内では、大型製材工場の本格稼働や木質バイオマス発電用木材の収集備蓄がスタートし、さらなる増産対策と安定供給体制の構築が急務となっている。徳島県においても、これまで全県域を対象に実施してきた「林業プロジェクト」の成果を礎に、平成27年度から10年後の県産材生産を60万m<sup>3</sup>まで高める、「新次元林業プロジェクト」に着手しており、これらの目標を達成するためにも、森林組合系統を挙げて増産要請に応えるべく決意の言葉を述べられました。

また、本年度は新たな森林組合系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」の初年度となっており、組合員の経済的利益の向上、地域社会の活力創造、さらには国民生活への貢献を目的に「施業の集約化と先進技術の活用等による効率的な事業基盤の整備」「系統のスケールメリットを活かした国産材安定供給体制の構築」「組合員・社会に信頼される組織づくり」の三課題を重点項目として取り組んで参りますので、引き続き、会員の皆様方のご理解・ご協力と国・県・市町村・関係機関のご支援・ご鞭撻をお願いする旨の挨拶を行いました。

続いて優良森林組合並びに職員の表彰式が執り行われ、受賞者を代表して「徳島中央森林組合 西利一氏」が謝辞を述べられました。その後、松本農林水産部長様をはじめ、徳島森林管理署・多田所長様、農林中央金庫高松支店・尾鷲部長様、全国森林組合連合会・淡田部長様よりご祝辞を賜りました。

なお、議事については議長に和泉副会長が選出され、提出9議題はすべて原案どおり可決承認されました。



松本農林水産部長ご祝辞



総会の様子

## 平成27年度優良森林組合並びに職員の表彰者

### 1. 優良森林組合の部

販売事業の部	海部森林組合
購買事業の部	三好東部森林組合
森林保険事業の部	美馬森林組合



表彰式の様子

### 2. 職員の部

木頭森林組合	主事	新居 博子 氏
美馬森林組合	総務課長	富田 真希 氏
徳島中央森林組合	事業所長	西 利一 氏
徳島中央森林組合	主事	市原美由紀 氏



受賞者代表謝辞



以下の8つの災害により契約森林が損害を受けたときに、保険が支払われます。

あなたの森林が災害にあったときのための保険です。

森林保険に加入していただいた森林に、災害によって損害が生じた場合、お約束にしたがってその損害を補てんする制度です。

<p><b>火災</b></p> <p>山火事で受けた損害</p>	<p><b>水害</b></p> <p>豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害</p>	<p><b>風害</b></p> <p>暴風による幹折れ、根返りなどの損害</p>	<p><b>噴火災</b></p> <p>火山噴火による損傷、幹折れ、埋没、根返りなどの損害</p>
<p><b>雪害</b></p> <p>大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害</p>	<p><b>凍害</b></p> <p>凍結、寒風などによる枯死などによる損害</p>	<p><b>干害</b></p> <p>乾燥による枯死などの損害</p>	<p><b>潮害</b></p> <p>潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害</p>

# 第94回国際協同組合デー記念講演会



講演の様子（浅田会長）

平成28年7月15日、徳島県J A会館において「第94回国際協同組合デー記念講演会」が開催されました。

国際協同組合デーは、毎年7月の第一土曜日と定められており、これを契機として、協同組合運動の意義を確認し、協同組合間の提携、協力関係をより前進させるため、本県の協同組合関係者が相集い、協同組合運動の発展を期することを目的とし、毎年度記念講演会を開催しています。

今年度は徳島県農業協同組合中央会に幹事をお願いし、農協・漁協・生協・森林組合の関係者らが一堂に集い盛大に開催されました。

講師には日本生活協同組合連合会の浅田会長をお招きし、「**協同組合が創る持続可能な未来（～実践活動の中から課題と役割を考える～）**」をテーマに、協同組合の歴史や社会的な役割について講演いただくとともに、日本生協の取り組み事例（緊急時における支援協定や高齢者・障害者への支援など）を紹介しながら、実践活動を通して浮き彫りとなった課題に対する解決策や協同組合の今後のあり方（役割）について見解を述べられるなど、私たち協同組合関係者にとって大変貴重な講演会となりました。

(1) 関係団体あいさつ

(2) 来賓挨拶（徳島県知事メッセージ）

徳島県農林水産部 次長 宮本 史典 氏

(3) 記念講演

日本生活協同組合連合会 会長 浅田 克己 氏

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p><b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b></p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>

# 平成28年度 森林組合役職員(コンプライアンス)研修会

開催日:平成28年9月27日(火)

会場:徳島県水産会館

平成28年9月27日、徳島県水産会館において、森林組合役職員の外、県担当職員も含め38名の参加をいただき、森林組合役職員(コンプライアンス)研修会を開催しました。

はじめに、新次元プロジェクト推進室の和泉係長より、「森林整備事業等の適正執行について」主に当該事業にかかる不正事案の概要や検査方法の改善(変更)点などについて説明がありました。続いて全国森林組合連合会より富山参事をお招きし、「コンプライアンス態勢の確立について」研修を実施していただきました。

今回、コンプライアンス研修を実施するに至った背景として、昨今、全国的に森林組合の不祥事が多発していることを受け、これら諸問題に対する森林組合役職員の役割・責任を再認識していただくことを目的に開催いたしました。

研修内容としては、コンプライアンスが求められる時代背景にはじまり、森林組合系統におけるコンプライアンスの意味や、その目的・責任・義務について、さらには、企業や森林組合系統における不祥事(例)から、不祥事が起きにくい組織風土やコンプライアンス態勢の確立に向けてどのように取り組むべきかなど多岐にわたっており、参加者にとって、森林組合役職員として果たすべき役割を再認識できた大変貴重な研修会となりました。

## 《研修内容》

- 開 会 (13:30)  
JForest 森林組合綱領唱和
- 主催者挨拶  
徳島県森林組合連合会 代表理事専務 伊藤 晴夫
- 来賓挨拶  
徳島県新次元プロジェクト推進室 室長 井関 廣幸 氏
- 「森林整備事業等の適正執行について」 (13:45～14:10)  
徳島県新次元プロジェクト推進室 係長 和泉 玲 氏
- 「コンプライアンス態勢の確立について」 (14:10～15:30)  
全国森林組合連合会 参事 富山 洋 氏



研修の様子



和泉係長



富山参事

# 2days 林業体験ツアー inとくしま



- 開催日：平成28年10月1日（土）～2日（日）
- 場 所：徳島県美馬市木屋平（中尾山高原ほか）
- 主 催：公益財団法人徳島県林業労働力確保支援センター
- 協 力：西部総合県民局・株式会社ウッドピア

今回開催されました林業体験ツアーは、間伐（チェーンソー）作業や高性能林業機械操作の体験をとおして、林業の魅力や作業環境に触れていただき、職業理解を深めていただくことを目的とした県からの委託事業であります『新たな林業担い手確保事業』により開催いたしました。

ツアー開催にあたり、SNSやホームページ等でPRを行った結果、県内外より5名の参加があり、2日間にわたり下記スケジュールで実施いたしました。特に搬出間伐の現場では、作業班員指導の下、チェーンソーによる造材や高性能林業機械（プロセッサ・フォワーダ）の操作に加え、作業班員による伐倒デモンストレーションなどが行われ、参加者にとって貴重な体験となりました。

また、初日の夕食時には、今回のツアー全般にご協力いただきました(株)ウッドピアの松家社長をはじめ社員の皆様にもご参加いただき、BBQでの交流会が行われました。参加者にとっては、実際に現場で働く人達から生の声が聞ける場とあって、積極的な質問や意見交換が行われるなど、大変有意義な交流会となりました。

なお、2日目の個別（就業）相談会に参加された事業者より、後日、参加者からインターンシップ等の申し入れがあったとの報告を受けております。



チェーンソー体験



交流会の様子



個別（就業）相談会

10月1日（土） 1日目	
11：10	(株)ウッドピア着 (開校式) オリエンテーション
11：30	徳島の林業について（新次元プロジェクト推進室 工藤主査） 「山師という選択」DVD上映（20分）
12：30	昼食
13：00	(株)ウッドピア発
13：30	搬出間伐現場到着 間伐（チェーンソー）体験／高性能林業機械（操作）体験 講師：(株)ウッドピア 現場作業員
15：30	搬出間伐現場出発
16：00	森のショーウィンドウ見学（西部総合県民局 木本主査）
17：00	平成荘着（宿泊）
18：00	参加者と事業者、作業班員等との交流会（BBQ）
20：00	終了
10月2日（日） 2日目	
8：30	林業総合センター 「林こずえの業」DVD上映（33分）
9：00	各林業事業者紹介 4事業者ほか (株)ウッドピア、三好東部森林組合、(株)山城もくもく つるぎ木材加工協同組合、徳島移住コンシェルジュ 参加者が各事業者個別相談
11：45	平成荘出発 木屋平小学校運動会見学（10分）
12：30	昼食後（閉会式）

# ●●● みどりの110番 ●●●

## ◇樹木医による無料緑化相談◇

「みどりの110番」は、本会に徳島県樹木医会の先生が週3日駐在し、電話・FAX・窓口対応の方法により、無料の緑化相談、技術指導を行っています。

庭木の管理・樹木の病気・樹木の害虫・樹木の育成環境・森林の整備方法など無料の相談に加え、有料の出張診断、治療、病害虫防除等も行っております。

### 〈平成27年度相談状況〉

月	相談等 件数	地域別		相談区分			調査 依頼	その他 依頼等
		県外	県内	TEL	FAX等	来所		
4	24	1	23	16		8	4	
5	25	2	23	17	3	5	2	
6	21	1	20	10		11	2	
7	28		28	17		11	5	
8	21		21	11	1	9	1	1
9	24	1	23	14	1	9	4	1
10	32		32	17		15	3	1
11	20	1	19	10		10	2	
12	13		13	8	2	3	1	
1	14		14	6		8		
2	13		13	1	5	7	1	
3	13		13	7		6	1	
計	248	6	242	134	12	102	26	3

#### (相談内容)

平成27年度の「みどりの110番」の相談件数は248件となり、昨年度より23件(10%)増加しました。このうち35%が、天然記念物や公園、学校、街路樹など公共的な施設からの相談であり、「みどりの110番」は依然として県下唯一の緑化技術の相談窓口として県民の要望に対応しております。

地域別では、県外からの相談6件以外全て県内からの相談であり、また相談区分では、電話相談が134件、次いで来所等102件の順となっています。この来所等の件数は、一昨年度17件、昨年度2件が増加していますが、この増加の原因は、一昨年から、相談員ができるだけ具体的な回答ができるよう、相談される方に、現物や写真を持参しての来所をお願いしている事から、この効果が現れてきたものと思われます。

相談内容の内訳は次のとおりであり、このうち「庭木の保育管理等の相談件数」の比率は、昨年度に比べて14%増加し、「庭木の病害虫等の相談件数」は、昨年度に比べて11%減少していますが、この変動の要因は、庭木の病害虫等の相談の減少に加えて、最近、県内の天然記念物や公園、学校、街路樹など公共施設からの保育管理についての具体的な相談が増えてきているためかと思われます。

#### (相談内容の内訳)

庭木の保育管理等の相談件数	125件	51%	(昨年度 37%)
庭木の病害虫等の相談件数	64件	26%	( // 37%)
緑化樹等の増殖についての相談件数	6件	2%	( // 1%)
その他の(事務連絡を含む)相談件数	53件	21%	( // 25%)

#### (天然記念物や公共的な施設の相談件数)

天然記念物・公園・学校等の施設からの相談件数 87件 (全相談件数の35%)

#### (天然記念物や公共的な施設の指導等の実施状況)

平成27年度「みどりの110番」を通じて相談や調査・指導等を行った箇所は、次のとおりです。

境目のイチョウ、恩山寺のピランジュ、日の峰、大神子公園のサクラ、赤羽根大師のエノキ、出羽島のマツ、祖谷のかずら橋周辺のスギ、和無田八幡神社の門杉、城山のホルトノキ、壇の大クス、別所の大クス、長池の暖地性樹林、穴吹小学校のエノキ、柿原小のユーカリノキ、東祖谷の社叢群、勝浦町役場のマツ、吉野川市街路樹のイチョウ、クスノキ、新野小学校のイチョウ、徳島市の街路樹(徳島-鳴門線)、山川幼稚園のイチョウ、徳島県農林水産総合技術支援センターのお手植えスギ、クスノキ、徳島県畜産研究所のクロマツ、加茂の大クス、文化の森総合公園の樹木。

#### 【相談受付時間】

月曜日・水曜日・金曜日の午前10時から午後4時まで  
(祝日・年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)を除きます。)

お気軽にお問い合わせ下さい。

**(088)652-4110**

(TEL・FAX 兼用)



徳島県樹木医会 日本樹木医会会員

〒770-0939 徳島市かちどき橋1丁目41番地  
林業センタービル1F(徳島県森林組合連合会内)

# 人は生まれながらに 「人」として生きる権利を持っています。



国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日に「世界人権宣言」を採択し、その主旨は「すべての人間は、生まれながらにして自由であり尊厳と権利において平等である」という内容でした。

1966年（昭和41年）「国際人権規約」を採択、「人権の国際基準」を示し地域紛争や、人権侵害、難民問題が取り上げられる中で、世界が「人権」についてよく考えるようになりました。

1994年（平成6年）の総会において1995年から2004年までの10年を「人権教育のための10年間」と決議しました。以後、各国において積極的に取り組むよう要求しています。

これを受けて、我々森林組合を含む全国農林漁業団体では「人権問題啓発推進事業」を開始し、継続してこの運動を展開しています。

「人権」は永遠のテーマです。わたしたちは人権について学び、かつて採択した「世界人権宣言」の主旨を次の世代へ引き継がなければなりません。

**私たちの身近にひそむ差別や偏見、  
人権侵害につながる人権課題に対する心構えを常に持ち続けましょう。**

**J Forest**

**全国森林組合連合会  
人権問題普及啓発事業**